

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国際協力の推進				シート番号	008-023
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際	課 評価責任者(課長名)
						永野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け	
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 9 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)				
5	事業実施の経緯	①<サイクルエイド事業>平成9年度より事業開始。サイクル・エイド支援会議を組織(委員長:大阪府知事、堺市長は委員)し、事業を支援。事務局は(公社)アジア協会アジア友の会 ②<JICAボランティア支援事業>JICAやJICA青年海外協力隊員の活動に対する支援(昭和40年から開始)					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (サイクル・エイド支援会議、(公社)アジア協会アジア友の会)					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	①国際協力団体 ②独立行政法人国際協力機構JICA ③国際協力に関心のある堺市民、市内企業、大学 等					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	国際協力に取り組む民間を含む団体等と連携し、国際協力活動を推進していく。また、国際協力に関わる中で、教育環境の向上や人材育成を支援するとともに、SDGs達成にも貢献していく。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①サイクル・エイド支援会議の構成団体として、(公社)アジア協会アジア友の会や大阪府並びに府内自治体との協力のもと、通学等に自転車が必要とするアジア、アフリカの子どもたちに放置自転車を贈る。大阪府、府内市町村等で組織する支援会議により、支援内容や事業計画を立てる。放置自転車の寄贈については、自転車対策事務所と調整のうえ実施。 ②JICA等と連携した国際協力の推進 ・海外青年協力隊(シニア含む)表敬 ・パネル展示や広報資料の配架等により、活動内容紹介 ③外務省等と広報分野での連携(国際協力のPR)ほか大学による国際協力活動への側面的支援 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先	サイクル・エイド支援会議						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	754	702	734	729	764	702	266
主な事業費内訳	サイクル・エイド支援会議負担金	千円	700	700	700	700	700	0
	報償費	千円	50	0	30	24	30	0
		千円						
		千円						
	財源内訳	千円						
	国・府支出金	千円						
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							
一般財源	千円	754	702	734	729	764	702	266
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,574	1,522	1,554	1,549	1,574	1,512	1,086

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	国際協力の推進	シート番号	008-023
-------	---------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>①公益社団法人アジア協会アジア友の会が、大阪府・市、大阪府内の自治体と協力して実施するサイクル・エイド事業において、例年どおり年2回、延べ200台の自転車(本市内の放置自転車)の寄贈を行った。サイクル・エイド支援会議(全体)としては、カンボジア、タイへ計720台を寄贈した。なお、事業開始以来、アジア、アフリカの10ヶ国に合計32,150台の自転車と2台の車椅子を贈ることができた。</p> <p>②JICA青年海外協力隊員募集の広報活動への協力並びに、派遣前及び派遣後の隊員らによる市長表敬を実施した。また、本庁のエントランスホールにて、JICAの活動紹介パネル展示を行ったが、来庁者は国際協力に関心が高く、好評であった。</p> <p>③外務省や一般社団法人自治体国際化協会(CLAIR)等が案内する事業について、庁内への通知やポスターによる啓発を行った。また、令和元年10月、関西大学から企画提案のあった3年計画の国際協力事業「SDGs Cycle Project(SCP)」に対して、助言や協力をし、令和2年度より「堺市と関西大学との地域連携事業」(平成20年8月、堺市と関西大学とが基本協定締結、所管:政策企画部)として、本市の協力のもと、関西大学が事業実施していくことが決定している。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		海外への寄贈自転車台数	台	目標値	200	200	200	100
				実績値	200	200	200	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		本市の自転車寄贈台数を計上している。支援会議としては令和2年度は計720台(カンボジア、タイ)					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		JICA事業等への支援数	件	目標値	4	4	3	3
				実績値	4	7	4	
				達成率	100%	175%	133%	
	評価			良い	大変良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		JICA海外青年協力隊の堺市出身隊員による表敬や国際協力事業に係るパネル展示等を実施した件数を計上している。					

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	自転車寄贈数	200	200	200	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,110	1,110	1,105
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,550	5,550	5,525
	備考(算出についての説明等)		自転車寄贈を行っている支援会議への負担金			
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	JICA事業等への支援数	件	4	7	4
	②	上記①にかかる年間経費	千円	410	440	405
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	102,500	62,857	101,250
	備考(算出についての説明等)		表敬訪問や活動紹介等の事業支援に係る報償費			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)
	大阪府や関係する民間団体及び庁内関係部局と連携して事業を推進することで、目標を達成できた。また、国際協力を実施することでめざしているSDGs達成に寄与するものとなっている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	国際協力の推進	シート番号	008-023
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 JICA、アジア友の会など国際協力団体との事業協力や事業連携が、経費をほとんど要することなく実施できており、費用対効果の面からも、これらの事業を廃止することは、国際都市を掲げる本市として、適当ではない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 大阪府や府内市町村との調整が必要である。また、寄贈を行っていた放置自転車の処分経費が増となる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 当該事業は、経費をほとんど要せず実施しており、これ以上のコスト削減は難しい。 なお、令和2年度から負担金は拠出せず、自転車輸送費用のみを負担するなど、経費削減に努めながら、事業の継続をめざしている。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 当該事業は、国際機関等への協力等であり、実施方法を改善し、社会経済活動の維持・回復を図るものではない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (自転車対策事務所) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 サイクル・エイド事業は、当初、放置自転車問題対策と発展途上国への支援として大阪府が開始した事業であり、その後、大阪府から社団法人アジア協会アジア友の会へ引き継がれた事業である。 大阪府及び本市を含めた府内市町村とともに、サイクル・エイド事業にかかる支援のあり方を支援会議の中で検討しながら、寄付などの資金集めに協力し、経費捻出方法を工夫することで事業継続を図る。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 令和2年度から堺市では負担金拠出は行わず、放置自転車及び搬送にかかる経費の負担を行う調整を行っている。 また、堺市HPのほかイベント時にサイクル・エイド事業寄付金を募るなど、令和3年度以降も継続実施できるような方向性で見直しを行っていく。		